

事業名 **中学生国際交流事業**

政策	市民協働によるまちづくり	施策	国内 国際交流の推進	基本事業	異文化交流の推進		
部名	教育部	事業開始年度	平成7年度	区分1	継続	実施計画事業認定	対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果	
対象	海外研修交流訪問団
意図	次代を担う中学生に、姉妹都市交流を通じ、自国と相手国の文化や歴史に対する理解を深め、国際社会に通用する豊かな国際感覚を身に付け、国際的視野の醸成と言語をはじめとする日常生活を含んだ異文化理解を深めること。派遣教諭の授業による相互の文化の紹介と理解、体験入学による同世代交流を図り、国際交流についての知識や経験を深めながら、国際問題に対する理解を高める。
手段	姉妹都市グレシャム市から中学生と引率教員をホームステイとして受け入れ、また学校を訪問してもらって米国の文化に直接触れる機会を作る。 派遣：(事前研修)グレシャム市・江別市の概要把握、語学研修、事業報告、事業報告書作成(実地研修)ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学 受入：ホームステイ、施設見学、体験学習、体験入学

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	研修訪問団構成員数	人	8	8	8	8	
対象指標2	グレシャムからの訪問数	人	10	9	9	9	
活動指標1	補助金額	千円	1,297	1,309	1,289	1,313	
活動指標2	アメリカ文化習得のための学習会開催回数	回	10	10	8	10	
成果指標1	交流イベント参加者数	人	1,622	1,507	1,566	1,207	
成果指標2							
単位コスト指標							
事業費計(A)		千円	1,628	1,620	1,641	1,681	0
正職員人件費(B)		千円	2,507	2,075	2,082	2,037	0
総事業費(A)+ (B)		千円	4,135	3,695	3,723	3,718	0

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案(2月時点)	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

- 維持：現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業
- 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業
- 休廃止：21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業
- 新規：23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性(コスト)		
		減少	維持	増加
改革方向性(成果)	向上			
	維持			
	放低下			